

「押しつけ道徳は間違っている」の声を

第27回大阪市教
教育研究集会

学びつながら合う学校園を



渡辺雅之さん

第27回教育研究集会が10月13日開かれ90人が参加しました。大東文化大学の渡辺雅之さんが、記念講演「押しつけ道徳教育から学び合う語り合う道徳へ」を行いました。7分科会で、学び合い、つながり合いました(以下感想を掲載)。

○今年から教材にならなくて、書くこといっぱいあるノートまでもらって、所見も書く。道徳に対してのマイナスのイメージ



キックボクササイズ



会計年度任用職員制度って?



やってみよう!健康教育

でしたが、教材を教えるのではなく、教材で教えていくことを改めて知りました。(4年目)

○道徳の教科化の問題点を分かりやすく話してもらえてよかったです。道徳だけではなく、今の政治・社会の問題も大きく関わっていて、大きな力の前に不安な気持ちになりました。でも大きな力に

対しては、間違っていることは、間違っていること、大きな声で言えること、その大切さも教えてもらい前向きな気持ちになりました。

○0歳~5歳の発達の特徴を聞いてよかったです。

かったです。自分で!自分で!とやっている息子を気長にまとうと思えました。

○体を効果的に動かす心と体をスキリスキリときたえるボクササイズの魅力にはまりそうです。ステキな企画をありがとうございます。

○若い先生の「...」とはの学習「指導の実践たいへん参考になりました。①ごっこ遊び②絵本の読み聞かせの視点。③遊びを、生活の力や自信につなげることなどイメージが湧きました。簡易な道具をつかって楽しい実験の数々もすべつつかえます。

平和について語り合おう



○会計年度任用職員制度は、①雇止め、②仕事のパート化、③仕事を全うできる働き方など。問題点や不安事項を整理し当局と話し合いを要求する必須

市労組連

若年も中高年も賃金引上げ 病気休暇当初3日間有給に

市労組連は10月25日中央委員会を開催し、市人事委員会勧告にむけての取り組み以降の経過報告と秋季年末闘争方針を決定しました。

2018年度賃金確定市労組連要求を10月15日に提出し、

シを弱め、体制や権力に従順な国民をつくるもの。文科省は「答えが一つではない課題に子供たちが道徳的に向き合え、考え、議論する」道徳教育への転換により道徳性を育むと言っている。

既存教材を読み替え、既存教材から発展させ、自主教材を編成し、押しつけ道徳から、学び合い語り合う道徳へ。

要を感じました。○沖縄に続いて、今回は長崎にいくので、たくさんさんの吸収したいと思えます。自分自身まだまだ知識不足なので勉強します(新採用)

○映画を子どもたちに見せるという考えが今までありませんでした。文学作品から考えを深めたり、広げたりすることもできますが、映像の方が子どもに強くうったえかけることができると思いました。(12年目)

「優秀な人材確保のため初任給、若年層だけでなく、頭打ちとなっている中高年層への賃金引き上げや市独自の保育士、幼稚園教諭の給料表の大幅な引き上げ改善、技能労務職給料表の引き下げ案の撤回、主務教諭制度の廃止、時間管理の徹底と給特法による学校現場の無法な働き方への検証、病気休暇当初3日間の無給化の廃止、代替要員の正規職員配置等の要求」実現を申し入れました。

インフルエンザなどの感染症のための病気休暇の有給化は今季闘争で実現すべき課題です。大阪北部地震、西日本豪雨、台風21号で災害

たんぽぽ だより

11月

大阪市教教研全体会の講演は、渡辺雅之さんの「押しつけ道徳から、学び合い語り合う道徳へ」でした。

○道徳の教科化に、奥平の「ケサラ」を歌い、何と渡辺さん自身が

え、それを評価しないといけません。渡辺さんは、問題点を分かりやすく整理した上で、教科書教材をどう捉えるか、どうすれば子ども達が考え、議論し、多様な見方・考え方を身に付けることができるのか(「騙されない知性を獲得できるのか」)を教えてください。

さいました。現在の大阪市のしんどい状況の中でも、ケサラ(「何とかなるさ」)の精神を大切に、前向きな気持ちになれる感動的なお話でした。



統廃合反対 生野西部

○あることが嬉しい!」などの意見が出され、今後にも次回、交流会を行うことを確認しました。

臨時教職員交流会 主務教諭 採用で賃金減

臨時教職員「本音と要求」交流会を10月26日に行い10名が参加しました。はじめに交流会の議題として①今年の教員採用試験の振り返り、②日々現場で感じている疑問や不満、③臨時教職員の要求を出し合い、大阪市への要求書としてまとめること確認しました。

人事委員会は9月28日、月例給は公民較差(0.11%)を解消するため給料表を引き上げ、特別給(ボーナス)は0.05月分引き上げ、勤勉

また「職場では講師としての本音を話せる場所がない。教採突破講座や交流会

平和健康まつり(田島診療所など実行委員会主催)が10月7日舍利寺中央公園で行われました。まつりでは、地元

9月市会で、「生野区西部地域学校再編整備計画(案)」は保護者、地域の合意を抜きで前にすすめることを求める陳情書」が継続して審査の扱いになって

学校協議会(案)の説明会を実施し、合意のないまま強行しようとしています。

記念講演

文科省 自己責任論を強化 学び合い語り合う道徳を

フアンズムは突然やっこない。強情なナシヨナリズム、人権の軽視、団結のための敵国づくりなど「フアンズムの初期症状」が多くみられる。

道徳とは、異なる他者と共に生きる術

であり、それを阻むもの、破壊するもの、とたたかう市民的な力。そのために学び、見る力、リテラシー、だまされな知識性を獲得することが必要。

文科省型の「道徳」は、①すべての問題

を心の問題にすり替え、自己責任論を強化、②結論ありきで、問題の本質を隠す徳目主義、③日本の伝統・文化はむしろ、自国だけが正しいという排外主義的な愛国心を強調している。リテラ

調している。リテラ

を心の問題にすり替え、自己責任論を強化、②結論ありきで、問題の本質を隠す徳目主義、③日本の伝統・文化はむしろ、自国だけが正しいという排外主義的な愛国心を強調している。リテラ

調している。リテラ